

ファイル解説(ファイル伝送サービス)

A.1. 地方税納付(地銀協フォーマット)

A.1.1. 地方税納付(地銀協フォーマット)

(1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。

伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。

01～99の範囲とし、重複しなければ、飛び番、降順の設定が可能です。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	0199	XX	00

(2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

(3) レコード構成

A. シングルサブファイル

シングルサブファイルのレコード構成を以下に示します。

ヘッダ	データ	……	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	----	-----	------	-----

B. マルチサブファイル

マルチサブファイルのレコード構成を以下に示します。

なお、1つのマルチサブファイル内のサブファイル数の上限は99,999です。

ヘッダ	データ	データ	トレーラ	ヘッダ	データ	データ	…
…	データ	……	データ	トレーラ	エンド		

(4) レコードフォーマット

地方銀行協会が制定するレコードフォーマットに準拠します。

A. ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	業務種別を表す。 「99」:地方税納付(地銀協フォーマット)
3	コード区分	N(1)	1	使用コードを表す。 「0」:JIS 「1」:EBCDIC
4	委託者コード	N(10)	10	委託者コードを表す。
5	取引支店番号	N(3)	3	取引支店番号を表す。
6	納付期限日	N(6)	6	納付期限日を表す。 YYMMDD((和暦)年-月-日)
7	納付月	N(4)	4	納付月を表す。
8	特別徴収義務者 (委託者名)	C(40)	40	特別徴収義務者の委託者名を表す。
9	特別徴収 義務者所在地 (委託者所在地)	C(50)	50	特別徴収義務者の所在地を表す。
10	ダミー	C(3)	3	ダミーエリア(初期値)

B. データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	市区町村コード	N(6)	6	市区町村コードを表す。
3	市区町村名	C(15)	15	市区町村名を表す。
4	指定番号	C(15)	15	指定番号を表す。
5	給与所得者 異動有無	N(1)	1	給与所得者異動有無を表す。 「0」:異動なし 「1」:異動あり
6	給与税額件数	N(5)	5	給与税額件数を表す。
7	給与税額金額	N(9)	9	給与税額金額を表す。
8	退職税額件数	N(5)	5	退職税額件数を表す。
9	退職税額金額	N(9)	9	退職税額金額を表す。
10	合計税額件数	N(5)	5	合計税額件数を表す。
11	合計税額金額	N(9)	9	合計税額金額を表す。
12	退職明細人員	N(3)	3	退職明細人員を表す。
13	退職金の支払額	N(10)	10	退職金の支払額を表す。
14	退職金に係る 市区町村民税額	N(9)	9	退職金に係る市区町村民税額を表す。
15	退職金に係る 都道府県民税額	N(9)	9	退職金に係る都道府県民税額を表す。
16	ダミー	C(9)	9	ダミーエリア(初期値)

C. トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	給与税額 合計件数	N(7)	7	給与税額合計件数を表す。
3	給与税額 合計金額	N(11)	11	給与税額合計金額を表す。
4	退職税額 合計件数	N(7)	7	退職税額合計件数を表す。
5	退職税額 合計金額	N(11)	11	退職税額合計金額を表す。
6	合計税額件数	N(7)	7	合計税額件数を表す。 データレコード「合計税額件数」欄の合計値。
7	合計税額金額	N(11)	11	合計税額金額を表す。 データレコード「合計税額金額」欄の合計値。
8	ダミー	C(65)	65	ダミーエリア(初期値)

D. エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) チェック内容

本サービスでは、地方税納付(地銀協フォーマット)の送信中にデータの内容のチェックを行います。
 チェックの種類と概要を以下に示します。

項番	種類	説明
1	シーケンスチェック	「データ区分」のシーケンスチェックを行います。
2	日付チェック*1	ヘッダレコード中にある「納付期限日」が10日(または、10日が非営業日の場合、翌営業日)であることのチェックを行う。 チェック対象の「納付期限日」が、同一ヘッダレコード中の「委託者コード」の、適用開始日と適用終了日の範囲内であることを確認します。
3	トレーラ整合性チェック	データレコード中の「合計税額金額」、「合計税額件数」を加算し、トレーラレコードの「合計税額金額」、「合計税額件数」との整合性を確認します。
4	フォーマットチェック	チェック対象項目について、属性が正しいこと、定数であることを確認します。
5	委託者コードチェック	ヘッダレコード中の「委託者コード」が、伝送時のセンタ確認コード配下に存在することを確認します。
6	受付可能期間内チェック*1	ヘッダレコード中の「納付期限日」、及び受付時刻が、受付可能期間内であることを確認します。

(注)*1 「納付期限日(年(和暦)2桁を除くMMDD)」が1月1日の場合、本チェックは実施しません。

A. シーケンスチェック

データ区分のシーケンスチェックを行います。シーケンスチェックの内容を以下に示します。

		チェック対象レコードのデータ区分			
		H ^{*1}	D	T ^{*2}	E ^{*2}
直前のレコードの データ区分	H	×			×
	D	×			×
	T		×	×	
	E ^{*3}		×	×	×

(注1) H:ヘッダレコード、D:データレコード、T:トレーラレコード、E:エンドレコード

(注2) :レコードシーケンス正常、×:レコードシーケンス異常

(注)*1 先頭レコードは必ず「ヘッダレコード」であること

(注)*2 最終レコードは必ず「トレーラレコード」、または「エンドレコード」であること

(注)*3 ファイルの中間にエンドレコードが作成されていても許容します

B. トレーラ整合性チェック

サブファイル単位にトレーラレコードとの整合性チェックを行います。

(A) 件数の整合性チェック

サブファイル中のデータレコードの「合計税額件数」の合計がトレーラレコードの「合計税額件数」と一致することを確認します。

(B) 金額の整合性チェック

サブファイル中のデータレコードの「合計税額金額」の合計がトレーラレコードの「合計税額金額」と一致することを確認します。

A.1.2. 照合データ(地方税納付(地銀協フォーマット))

(1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。

伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。

01～99の範囲とし、重複しなければ、飛び番、降順の設定が可能です。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	9199	XX	00

(2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

(3) レコード構成

A. シングルサブファイル

ヘッダ	データ	……	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	----	-----	------	-----

(4) レコードフォーマット

全国銀行協会が制定するレコードフォーマットに準拠します。

A. ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	業務種別を表す。 99:地方税納付(地銀協フォーマット)
3	伝送日	N(8)	8	地方税納付(地銀協フォーマット)データを伝送した日付を表す。 YYYYMMDD(年-月-日)
4	伝送サイクルコード	N(2)	2	地方税納付(地銀協フォーマット)データを伝送した際のサイクルコードを表す。 右詰め残り前「0」
5	照合識別コード	C(6)	6	照合者が正当であるかどうかを確認するためのコードを表す。
6	取消実施区分	C(1)	1	依頼データの取消実施有無を設定する。 「スペース」:照合実施 「1」:取消実施
7	ダミー	C(100)	100	ダミーエリア(初期値)

B. データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	納付期限日	N(4)*1	4	地方税納付(地銀協フォーマット)データの振込指定日を表す。 MMDD(月-日)
3	委託者コード	N(10)	10	委託者コードを表す。
4	合計件数	N(6)*2	6	ダミーエリア(初期値)
5	合計税額金額	N(12)	12	地方税納付(地銀協フォーマット)データの合計税額金額を表す。
6	合計件数2	N(10)	10	地方税納付(地銀協フォーマット)データの合計税額件数(7桁)を表す。 右詰め残り前「0」
7	ダミー	C(77)	77	ダミーエリア(初期値)

(注)*1 依頼データ上は年(和暦)を含めた6桁領域だが、「納付期限日」は年(和暦)2桁を除いて4桁で照合する。

C. トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

D. エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) チェック内容

本サービスでは、照合データ(地方税納付(地銀協フォーマット))の送信中にデータの内容のチェックを行います。チェックの種類と概要を以下に示します。

項番	種類	説明
1.	シーケンスチェック	「データ区分」のシーケンスチェックを行います。
2.	フォーマットチェック	チェック対象項目が、数値/数値またはスペース/スペース以外/定数/スペースであることのチェックを行います。
3.	照合のチェック	照合の処理を行います。

A. シーケンスチェック

データ区分のシーケンスチェックを行います。シーケンスチェックの内容を以下に示します。

		チェック対象レコードのデータ区分			
		H ^{*1}	D	T ^{*2}	E ^{*2}
直前のレコードの データ区分	H	×			×
	D	×			×
	T	×	×	×	
	E	×	×	×	×

(注1) H:ヘッダレコード、D:データレコード、T:トレーラレコード、E:エンドレコード

(注2) :レコードシーケンス正常、×:レコードシーケンス異常

(注)*1 先頭レコードは必ず「ヘッダレコード」であること

(注)*2 最終レコードは必ず「トレーラレコード」、または「エンドレコード」であること

B. フォーマットチェック

照合データ(地方税納付(地銀協フォーマット))のフォーマットチェックを行います。フォーマットチェックの内容を以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	チェック内容
1	取消実施区分	C(1)	1	「スペース」(照合実施)または「1」(取消実施)であること。

C. 照合のチェック

照合データと依頼データが一致しているか否かは、依頼データの伝送日、依頼データの伝送サイクルコード、照合識別コード、納付期限日、委託者コード、合計件数、合計金額をキーに照合を実施します。

なお、取消しの場合は、前述の内容から照合識別コードを除いたキー項目にて照合を実施します。(照合識別コードの設定有無は任意です。)

上記の項目にて一項目でも不一致を検知した場合には照合エラー*1となります。

(注)*1 回線断、または、エラーが発生した時点で終了要求電文を受信している場合、終了回答電文にて「その他エラー」(コード値:99)を応答します。

(4) レコードフォーマット

A. シングルサブファイル

(A) ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	金融機関コード	N(4)	4	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	N(14)	14	加入者コードを表す。
4	ファイル名	C(12)	12	地方税納付(地銀協フォーマット)のファイル名を表す。 「502001990000」
5	依頼データ 伝送日時	N(12)	12	照会対象の依頼データの伝送日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)
6	依頼データ 伝送サイクル コード	N(2)	2	照会対象の依頼データの伝送サイクルコードを表す。
7	照会日時	N(12)	12	受付状況の照会日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)
8	照会回数	N(2)	2	照会日付単位に照会回数を表す。
9	当方センタ確認 コード	C(14)	14	本システムのセンタ確認コードを表す。
10	相手センタ確認 コード	C(14)	14	加入者センタのセンタ確認コードを表す。
11	受付状態	C(1)	1	照会対象の依頼データの受付状態を表す。 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「2」(照合不要) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ) 依頼データの伝送サイクルコード単位の情報

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
12	照合時限日時	C(12)	12	<p>・受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、当該伝送サイクルコードにおける依頼データの照合時限日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)</p> <p>・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)</p> <p>・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)</p> <p>依頼データの伝送サイクルコード単位の情報 受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル内で最も早い照合期限を表示する。 受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定する。</p>
13	ダミー	C(20)	20	ダミーエリア(初期値)

(B) データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	サブファイル通番	N(5)	5	照会対象の依頼データのサブファイル通番を表す。
3	会社コード	N(12)	12	会社コードを表す。 会社コード(10桁)+スペース(2桁)
4	納付期限日	N(4)	4	照会対象の依頼データに設定されている納付指定日(和暦6桁YYMMDD)から年(和暦)上2桁を除く、納付期限日を表す。 MMDD(月-日)
5	合計件数	N(6)*1	6	ダミーエリア(初期値)
6	合計税額金額	N(12)	12	照会対象の依頼データに設定されている合計金額を表す。
7	受付状態	N(1)	1	<p>照会対象の依頼データの受付状態を表す。</p> <p>・照合を行う加入者センタの場合 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ)</p> <p>・照合を行わない加入者センタの場合 「2」(照合不要)</p> <p>依頼データのサブファイル単位の情報</p>

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
8	照合時限日時	N(12)	12	<ul style="list-style-type: none"> ・直近のヘッダレコードの受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル単位の照合時限日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分) ・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分) ・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分) <p>同一伝送サイクルコードにおけるサブファイル単位の情報 受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定する。</p>
9	合計件数2	N(10)	10	照会対象の依頼データに設定されている合計税額件数(7桁)を表す。 右詰め残り前「0」
10	ダミー	C(57)	57	ダミーエリア(初期値)

(C)トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	データレコード 件数	N(5)	5	データレコードの件数を表す。
3	ダミー	C(114)	114	ダミーエリア(初期値)

(D)エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

B. ダミーデータの場合

(A) ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	金融機関コード	N(4)	4	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	C(14)	14	加入者コードを表す。
4	ファイル名	C(12)	12	地方税納付(地銀協フォーマット)のファイル名を表す。 「502001990000」
5	依頼データ 伝送日時	N(12)	12	オール0
6	依頼データ 伝送サイクル コード	N(2)	2	オール0
7	照会日時	N(12)	12	受付状況の照会日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)
8	照会回数	N(2)	2	照会日付単位に照会回数を表す。
9	当方センタ確認 コード	C(14)	14	本システムのセンタ確認コードを表す。
10	相手センタ確認 コード	C(14)	14	加入者センタのセンタ確認コードを表す。
11	受付状態	C(1)	1	スペース
12	照合時限日時	N(12)	12	オール0
13	ダミー	C(20)	20	ダミーエリア(初期値)

(B) トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	データレコード 件数	N(5)	5	データレコードの件数を表す。 データレコードが存在しないためオール0
3	ダミー	C(114)	114	ダミーエリア(初期値)

(C) エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」: エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) 特記事項

受付状況照会データ(地方税納付(地銀協フォーマット))は、伝送サイクルコードの重複を許容し、伝送サイクルコードを意識した伝送は行わないため、同一データの再送信は行えません。